

2018-19年度ライオン誌日本語版委員会 第2回会議 報告書

日 時：2018年8月7日(火) 13:15～15:45

場 所：一般社団法人 日本ライオンズ 事務所

出席者：国際理事 安澤 莊一 (福島県・白河小峰ライオンズクラブ)
委員長 矢野 敏明 (336複合地区／島根県・松江葵ライオンズクラブ)
編集長 稲岡 敬弘 (332複合地区／秋田ライオンズクラブ)
委員 渡辺 和廣 (330複合地区／山梨県・甲府シティ ライオンズクラブ)
委員 渡辺 修 (331複合地区／北海道・美唄ライオンズクラブ)
委員 渡邊 信也 (333複合地区／新潟県・亀田ライオンズクラブ)
委員 神崎 守 (335複合地区／京都やわたライオンズクラブ)
委員 椿 幸雄 (337複合地区／熊本火の国ライオンズクラブ)
ITアドバイザー 莊 英隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)
ITアドバイザー 小柴 登司 (337複合地区／沖縄県・浦添ウエスト ライオンズクラブ) ※オンライン

欠席者：国際理事 佐藤 義雄 (長野県・戸倉上山田ライオンズクラブ)
委員 西川 恒彦 (334複合地区／静岡県・富士宮ライオンズクラブ)
ITアドバイザー 辰巳 博昭 (兵庫県・神戸須磨ライオンズクラブ)



矢野委員長の開会あいさつに続いて、安澤国際理事からあいさつと国際関係の報告があり、その後、矢野委員長、稲岡編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. 2018年4-6月分国際協会補助金

8月3日に2018年4～6月期補助金9,916,776円が入金されたことが報告された。4～6月の為替レートの平均108.00円、読者会員数91,822人で計算された金額だった。

●国際本部提出用収支計算報告書

国際理事会方針書に従い、国際本部へ提出する2017-18年度下半期ライオン誌日本語版に関する収支計算報告書が提出され確認した。

2. 本誌関係

●2018年9・10月号 (8月20日発行) 記事内容の確認

今月は国際協会指定記事として、新国際会長ポートレートの表紙と、新国際会長テーマがあり、それぞれ本部の指定通りに掲載している。特集は「ラスベガス国際大会」で、取材に当たった編集スタッフ2人の記事と写真で構成した。また、日本から選出された安澤莊一新国際理事の抱負を掲載。8月3日午前に行われたアガワルLCIF理事長の西日本豪雨被災地視察と、同日午後に行われた理事長セミナーを取材し、それぞれ記事にしている。「国際理事だより：佐藤義雄国際理事」、「編集室：矢野敏明委員長」。

●2018年11・12月号 (10月20日発行) 台割 (案)

特集は前回会議で決定した「西日本豪雨災害」で、被害の大きかった愛媛、岡山、広島

各被災地で、ライオンズクラブの活動に焦点を当てて取材をする。また、この号で国際協会指定記事の「キャンペーン100」、グドラン国際会長公式訪問及び全国事務局員研修の取材記事を掲載することとし、「ライオンズを探せ」など一部記事を休載とする。「国際理事だより：安澤莊一国際理事」、「編集室：稲岡敬弘編集長」。

●2019年1・2月号以降特集企画（案）

前回会議に続いて、今年度主要記事のうち特集企画について検討した。1・2月号は「レオクラブ」とし、奉仕事業に活発に取り組んでいるレオクラブの活動取材し紹介する。取材先は各委員を始めとして情報を集め、9月の委員会で決定する。

その他、稲岡編集長から、国内最北端や最南端のクラブ活動を取り上げる企画が提案された。これに対し、離島や村など地域的に特徴のあるクラブを取り上げる案も出され、具体例をピックアップしてみることになった。神崎委員からは、例えば「私の考えるライオンズクラブ」といったテーマで、ライオンズの根源的な部分について、会員が自分の意見を披瀝する企画をしてみたらどうかと提案があり、各委員からの意見を集約した上で、次回会議で内容や募集方法などについて、具体的な方策を検討してやることになった。また神崎委員から、国際理事会や国際本部の役割、国際協会の意志決定方法などを分かりやすく解説する企画が提案され、安澤国際理事から、会員の皆さんは国際協会と単一クラブや自分たち会員との距離が遠いと感じられていると思うとの意見があった。

3. ウェブマガジン関係

●2018年8月号（8月1日更新）出来

8月1日更新のウェブマガジン8月号の出来を確認した。

●2018年9月号以降台割案

ウェブマガジン9月号と10月号の主要コンテンツについて、内容と取材経費が提出され、承認された。11月号については現在「テーマ」のみが決定しており、取材が承認された。また椿委員から10月8日に337-E地区で実施される薬物乱用防止キャンペーンの話題が提供され、地区から写真と記事を提供してもらい、「ニュース」欄に掲載することを確認した。

4. 主要記事予定

●2018-19年度主要記事予定

現在まで決まっている主要記事予定を確認すると共に、委員が交替で執筆する「編集室」の担当ローテーションを決定した。

●2018年9～10月取材経費概算

9月から10月にかけての取材経費概算が提出され、検討の上これを承認した。

●海南フォーラム取材

日本ライオンズ理事会にフォーラムに関わる出張について承認を求めるに当たり、矢野委員長、稲岡編集長の了解を得て、理事会へ提出した出張要請の文書が提出され、委員会として職員1人を取材のため派遣することを確認。取材経費については、確定した段階で改めて検討する。

5. その他

- 前年度委員会からの引き継ぎ事項の一つ「ライオン誌日本語版の方向性」について意見を交換した。神崎委員から、ライオン誌に対してはさまざまな意見があり、本誌やウェブマガジンの企画をどうするかという問題以前に、ライオン誌日本語版はどのような雑

誌であるべきかを検討すべきではないかとの問題提起があった。そこで一人ひとりが意見を出したところ、ライオン誌で自クラブのアクティビティが紹介され励みになったというクラブは多いし、逆に読者側は他クラブのさまざまな活動を見て参考にしている、現行のようにライオンズ本来の使命であるアクティビティを中心とした雑誌を目指す方向でいいのではないかとの意見が大勢を占めた。一方で、個々の会員の思いを吸い上げることもライオン誌の役割であり、会員の提言を受ける獅子吼欄をもっと充実させていくことも必要との意見もあった。この件に関しては、前年度委員会からの引き継ぎ事項も含め、次回委員会で時間を取り集中審議をすることになった。

- エリア限定（東京都＝330-A地区：約4,350件）で本誌9・10月号に同封する、同梱広告（個人発送1部当たり単価35円）について審査し、承認した。
- 世田谷区障害者雇用促進協議会から、ライオン誌日本語版委員会が長年にわたり、本誌のクラブ発送を世田谷区内の障害者事業所数カ所に発注していることに対し、世田谷区長から感謝状が贈呈されることになった旨の連絡があり、12月9日の贈呈式への出席要請があった。委員長、編集長のいずれかが出席する方向で日程の調整をする。

閉会あいさつ 矢野敏明委員長

【次回以降委員会開催予定】

9月6日(木)	13:30～16:00	第3回会議	日本ライオンズ事務所
10月9日(火)	13:30～16:00	第4回会議	日本ライオンズ事務所